



JAC北九だより

No.88 (2019年 第2号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 関口 興洋
 事務局: 行橋市東泉3-18-10
 竹本 正幸方
 TEL-FAX 自宅 0930-28-9611
 携帯 090-6739-9251
 編集人: 事務局(森 義雄)
 印刷: 山口県山口市水の上町2-25
 内 藤 製 本 所

4月21日(日)

第20回通常総会のご案内

支部長 関口 興洋

第20回通常総会を下記の日程にて開催いたします。今後の北九州支部登山技術等のレベルアップを目指して、広く皆さまのご意見を賜りたく思っております。

つきましては、何かとご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、できるだけ多くのご出席をお願い申し上げます。

今回の講演者は北九州支部横山秀司(16382) 会員であり九州産業大学大学院教授で経済・ビジネス研究科に所属、演題は「北アルプスの景観と森林限界」というテーマで講演していただきます。

記

- 1、とき 2019年4月21日(日)
- 2、場所 毎日会館西部支社 5階会議室
北九州市小倉北区紺屋町13-1
(電話:093-541-3031)

(会場は北九州支部ルームがある毎日会館です)

※会場へのアクセス

JR小倉駅から徒歩15分、
西鉄バス砂津バスセンターから徒歩5分

3、スケジュール

(1)受付:午後1時から1時15分まで

(2)記念講演:午後1時15分~午後2時45分(予定)

講師:横山秀司

講演内容「北アルプスの景観と森林限界」

(3)通常総会:午後3時~3時45分

(4)懇親会:午後6時~午後8時

居酒屋「コール天」

懇親会会場へ移動します(移動時間徒歩15分)

懇親会会費:3,500円

(5)締め切り:出欠は総会案内に同封した返信ハガキに記載の上4月14日(日)までに
投函のこと(当日消印有効)

(6)問い合わせ先:

榊俊一(自宅電話:092-947-3208、

携帯:090-8416-4194)

竹本正幸(自宅電話:0930-28-9611

携帯:090-6739-9251)

※講師の紹介

横山秀司講師は、九州産業大学大学院教授(経済・ビジネス研究科)に勤務、専攻分野は観光学、観光地理学、景観生態学。地理学で博士号を取得され、数々の図書も出版。日本山岳会通常会員。

5月12日(日)

英彦山清掃登山のおしらせ

英彦山登山道周辺の清掃活動を支部主催で行います。会員の皆様のご協力ご参加をお願いします。

記

1. 日 時:5月12日(日)
2. 集合時間:午前9時
3. 集合場所:英彦山鷹巣原駐車場
4. 行 程:
鷹巣原駐車場から3コースに分かれて清掃しながら中岳頂上へ登り、頂上周辺を清掃します。

昼食後、正面登山道を下山します。

下山時にバイオトイレのオガクズを可能な限り、参加者が持って下山します。

オガクズは500g²から1kg程度の重さで、専用のパックに詰めます。

5. 携行品:

個人:昼食、軍手、ゴミはさみ、紐(ザックに括り付ける)、

共同装備は支部で準備、背負子(2ヶ)

※森林巡視員は腕章持参

・ゴミ袋は、添田町役場から提供

6. 申込み:奥田スマ子(携帯:080-8589-0903)

竹本正幸(携帯:090-6739-9251)

7. 締め切り:4月28日(日)

12月8日(土)

平成最後の「忘年の集い」

14523 榊 俊一



会場の門司倶楽部で(写真提供：伊藤久次郎)

平成最後の30年忘年の集いは門司倶楽部で開催しました。参加者は懇親会24人で、今回は山行を中止としました。

会場は門司倶楽部で、午後5時から榊会員と三宅会員の司会で開会。

今回も忘年の集いの表題を高島会員が作成され、場所を考慮し関門海峡大橋をバックにカラーの大作を持参していただきました。毎年ありがたいことです。

支部長のあいさつに続き園川顧問の乾杯で懇親会がはじまりました。森前会長のお酒の差し入れと宮崎ウエストン祭でのキャンプファイヤー点火式に昨年金婚式を迎えられた丹下ご夫妻が点火を行ったお礼としていただいたお神酒の差し入れが披露されました。

引き続き、榎有恒の生い立ちや登山歴などを盛り込んだ榎有恒碑前祭の記録ビデオが上映されました。

そのあと参加者24人中10人になにかの景品が当たるくじ引きを行いました。

景品については幹事がモンベル小倉店で購入し、

準備しました。

参加者全員の和気あいあいとした雰囲気でしたら、懇親会が続きあつという間に終了となりました。

最後に全員で坊がつる讃歌を歌い伊藤顧問の万歳三唱で最後を締めくくりました。

全員が昨年一年の楽しい思い出などを語りあった楽しい忘年の集いでした。

参加者：24人

会員：園川陽造、板倉健一、伊藤久次郎、馬場基介、高島拓生、関口興洋、山田武史、丹下治、大木康子、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、縄田正芳、縄手修、大谷恵美子、奥田スマ子、三浦利夫、塚本久嘉、清家幸三、三宅明子、支部友：和田敦子

月例山行 1月6日(日) 猪群山と国東峰道トレイル (T-4コース)

15580 大谷 恵美子



猪群山山頂での記念撮影 (写真提供: 清家幸三)

●コースタイム: 6時間

夷耶馬農村公園駐車場8:00~猪群山常盤登山口8:30
~立石9:00~猪群山山頂9:30~<ストーンサークル>
~飯牟礼神社(昼食)10:35/11:15~臼野登山口11:20
~山畑-道園線入口11:45~中山仙境合流地点12:45~
中山仙境下山口14:18

今年初めての山行です。すでに仲間は集合しており、3台の車に相乗りし山越えで近道を走り常盤登山

口に着く。簡単な自己紹介を済ませ、落ち葉で山道もかくれ外気もピンと張りつめ冬の里山だ。しばらく登り立石で衣服調整をして一気に猪群山山頂へ。まだ時間が早いのか人がいない。そのままストーンサークルに下る。変わった岩が二つ入口に、上の広場には注連縄をかけた大岩があった。再び山頂に戻ると大勢の方々が賑わっていた。

今年の干支の山だからでしょう。下山の途中でJAC東九州の数人と逢う。飯牟礼神社をお参りして陽だまりで昼食となる。石段や鳥居が倒木等で荒れる山々に心が痛む。臼野登山口までは静かな里山の生活があった。すっかり天候も晴れていた。アップダウンを繰り返し山畑-道園線入口からしばらく上りが続く。中山仙境T-4オプションコースに合流する。

九州百名山に仲間入りとか。尾根歩きはこのコースと対峙する国東峰道は絶景の連続で別世界。仲間の足取りも軽く元気だ。痩せ尾根で写真に納まる。下山道数力所足元に気をつけながら無事下山。入浴後解散となる。下見に協力された方々には大変お世話になりました。久々の楽しい山行でした。

参加者: 12人

会員: 大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、縄田正芳、大谷恵美子、塚本久嘉、清家幸三、小林英世 準会員: 藤原玲子(CL)、太郎良嘉親、萩原直樹

2月24日(日) 宝満山・三郡山・若杉山縦走 やはり山は快晴が最高!

北九494 和田 敦子



宝満山山頂での記念撮影 (写真提供: 榊俊一)

●コースタイム: 8時間13分

コースタイム: 竈門神社7:17~五合目8:30~宝満山9:10/9:20~三郡山10:35<昼食>11:15~砥石山12:49/13:00~ショウケ越~若杉山14:50/15:00~若杉楽園15:30(タクシーに分乗して篠栗駅へ)

三郡縦走の山行に参加しました。若杉山から宝満山への縦走は経験がありましたが、宝満山からは初めてで、どのような山行になるのか期待膨らむ中、

天気はこれでもかというくらいの快晴で、とても気持ちの良いスタートです。

午前7時10分ごろに出発し、登山道を登っていきます。途中トレイルランニングの者や毎朝登っているだろう登山者とすれ違い、その人の多さに驚きました。北九州に住んでいて、私にとってはあまり馴染みのない宝満山ですが、この山がいかに福岡の登山者に愛されているんだなということを感じることができました。

5合目を過ぎ、午前8時45分ついに100段ガンギ前に到着、初めてではないが久しぶりに見ると本当に塗り壁のようで驚きます。一步一步踏みしめるように登り、100段を登り切りましたが本当にきつかったのが感想です。しかし、そこからは景色もどんどんひらけていき、木々の間から青空、福岡の街並みがきれいに見えるようになり、山頂からの展望も素晴らしい。縦走路はとても快適で気持ちが良く、雨の日の登山も楽しいことはたくさんあるが、やはり山は快晴が最高だ!と、いうことを再確認しました。

参加者: 9人

会員: 榊俊一、竹本正幸、竹本加代子、縄田正芳、三浦利夫、小林英世、中畑智子、三宅明子
支部友: 和田敦子

3月2日(土)~3日(日)
三高山小屋での観梅会(福岡県嘉麻市)
 16186 三宅明子



安国寺梅林公園碑前で(写真提供:三宅明子)

3月2日(土)

午後3時に三高山の山小屋に集合、食材を調達し、その後、食事の準備を行う。今日の献立は水炊きなので、すぐに準備は完了した。午後5時前から、懇親会が始まる。今回は日本酒の差し入れが多く、み

んなで日本酒をたしなむ。井上禮子会員が作って持参の大根の漬物、小林さんから差し入れの刺身が美味しかった。途中雨が降り出したため、小屋の中へ移動。小屋の中ではアカペラ大会が始まり、大いに盛り上がった。気が付くと午後10時半を過ぎていたので、宴会は終了。まだ雨が降り続けていたため、明日登山をするかどうかは、明朝決めることとし、就寝した。

3月3日(日)

午前7時過ぎから朝食開始。今日は水炊きのスープを使った雑炊。雨が止む気配もなく、みんなで話し合った結果、今日の登山は中止し、近くの梅林公園に行くことにした。梅林公園の梅はちょうど見ごろを迎えており、今日はイベントも開催予定だったが、雨のため中止になっていた。梅林公園を散策後、解散となった。

今回の観梅会では登山はできなかったものの、楽しく過ごすことができた。小屋を貸してくださった高島会員をはじめ、みなさま本当にありがとうございました。

参加者: 12人

会員: 園川陽造、井上禮子、高島拓生、内藤正美、
 榊俊一、赤瀬榮吉、三浦利夫、塚本久嘉、
 小林英世、三宅明子

支部友: 縄田恵美子、ビジター: 大坪芳子

2018年9月2日(日)
陶ヶ岳岩登り教室(山口県)
 15624 三浦利夫



竹本会員による説明(写真提供:森義雄)

9月2日、陶ヶ岳において「岩登り教室」が開催されました。今回は20代を含む15人が参加しましたが、

最近の「岩登り」には若い人も多く参加され、盛り上がりを見せています。

午前8時30分駐車場に集合、陶ヶ岳のテラスの広場まで移動し、岩登り教室を開始。

まずは、1時間程の間ロープワークの訓練です。リーダーから説明を受けた後、各自練習を実施しましたが、覚えていたと思うことも時間がたつとあいまいなところもあり、常日頃の反復繰り返しの重要性を再認識しました。また、ロープワークは数多くの種類がありますが、「エイトノット」、「クローブヒッチ」、「イタリアンヒッチ(ムンターヒッチ)」等数は少なくても良いので、基本的なものを確実に覚える事が重要である旨の指導を受けました。続いて岩場に移動して、クライマーとピレイヤーを交代で実践練習を実施しましたが、いざ自分が登ってみると初めてのルートでは、ホールドができずに引き返したりして、テラスまでの登りは苦労しました。リーダーからクライマーとしては、ルートファインディングが大切だと指導されたことを痛感した次第です。

岩場を良く観察し、岩の形状を利用して弱点となる部分を選んで登る必要があります。

これは、経験を積んでいくしかないことだと思いますが、目的意識を持ち実践しなければ、その経験を活かすことはできません。常に何事に対しても貪欲に飽くなき探究心を持つ事の必要性を感じました。

今回は、とても有意義な岩登り教室で、今後の山行に活かしていきたいと思います。

リーダーとしてご指導いただきました竹本会員をはじめ、ご参加の皆様に感謝を申し上げます。

参加者：15人

会員：板倉健一、竹本正幸、竹本加代子、森義雄、歳弘逸郎、三浦利夫、町元里香、清家幸三、小林英世、中畑智子 支部友：太郎良嘉親、菅野正道、城戸剛、松本重裕、安達美保

1月20日(日)第3回指導員研修会 15806 清家 幸三



クライミングボード前で写真(写真提供：清家幸三)

会場は北九州市立玄海青年の家。いつも対応が快い施設の一つである。もう一つはしっかりしたクライミングボードの存在である。ロープワークが2～3班に分けて出来る。それだけ多くの実技に参加して効率が良い。この日のスタートはボードの上まで辿り着くウォーミングアップで始まった。この段階には講師からのセルフビレーに対する細かい指導が少なくなった。ロープワークの実技を積み重ねてきた結果によるものである。

午前中は遭難者の引き上げがテーマとなった。参加者が6人、3班に分けて話し合いながら進めた。この頃のやり方はテーマを決めて現場を念頭に入れ

ての実技である。

これは指導者としての技術を身に付けることがねらいになっている。しかしながら、なかなか上手く出来ない。試行錯誤を繰り返してようやくカラビナを使い1/3,1/4の原理を駆使することに合意した。それでも遭難者の引き上げは容易ではない。ますます理論と現実の力不足に痛感する。この状態から抜け出さないと指導者としての資格がないと思い真剣に取り組んでいく。困惑のムードに受講者全員が包み込まれる。いつもの研修会の姿になる。

今回は年一回の試験日。B級、C級をそれぞれ1名が受けた。

午後からは午前中のおさらいとそのプロセスの中のロープの結び方の方法を勉強した。

この一連の訓練を重ねることにより知識と技術の一つずつ身に付けていく。そしてこのプロセスを歩むことが登山する者のゆとりをもたらす。ひいては登山者に求められるもっとも大切な“安全”に近づくことを覚えた。

この職員の爽やかさを感じるのはこの研修会での一日の充実感があるからではないだろうか。そして本日の研修会を終えた達成感もあるのかもしれない。

講師：園川陽造

参加者：7人

会員：磯野文雄、赤瀬榮吉、森義雄、三浦利夫、清家幸三、三宅明子、松本重裕

第6期(2019年度) 指導員研修 参加者募集

今年も指導員研修の参加者を募集いたします。

参加者は、支部会員、支部友関係なく、さらに経験、年齢、性別も問いません。意欲のある方は申し込んで下さい。

今年度第1回講座は、4月13日(土)～14日(日)小倉南区平尾台公民館にて開催されます。

今年度の予定は、4回開催される予定です。希望者は、下記までお申し込みください。

●申し込み先：指導員マネージャー
清家 幸三(携帯：090-8664-4411)

2月9日(土)~11日(月) 第4回指導員研修

◆◆深雪の大山で積雪期訓練◆◆

15387 森 義雄



賽の河原付近で集合写真(写真提供：清家幸三)

今年の積雪期訓練の地は、初めての大山です。昨年までは、九重での訓練計画でなかなか積雪に恵まれず、希望通りの計画が実施できませんでした。

今年は、訓練の場所を伯耆大山下山キャンプ場に移し、期間も2月9日~11日としました。

参加者は、園川講師他北九州支部指導員8人です。訓練の課題は、①積雪期での歩行技術、②安全対策、③生活技術、④装備器具の有効活用、⑤指導員研修の具体的な推進と展開がテーマです。

8日午後11時45分小倉駅前発の夜行バスに乗車。車での移動が難しいことから、バスを選択、参加者も荷物がそれぞれ20kgを超えています。私は、共同装備を含め約23kg、何が入っているか・・・車内は、始発が博多のため、半数はすでに睡眠中、小倉駅前乗車のわれわれ9人もすぐに眠りにつきます。

9日午前6時前米子駅に到着、大山寺行の始発バスを1時間半ほど待合室で待ちます。朝食と着替えを済ませます。私は、スキーをはじめた40年前から大山には競技大会で年数回訪れる機会がありましたが、その時は列車が駅に着くたびに大山寺行の直通バスがピストン輸送されて、駅前には賑やかでした。それも現在は、高速道路の開通、夜行列車がなくなり、スキー客もスキー場に直接向かうため、駅前にはひっそりしています。午前8時前バスに乗車、今は路線バスも大山寺まで1日4本で、車内は混みあいます。

1日目(9日)

大山寺に午前9時前に到着。途中、道路には雪は

ありません。しかしこのころから雪が降り始めました。バス停前の交番に登山届を提出し、キャンプ場に向かいます、大山スキー場の積雪は45㌢、本当に少ないようです。橋を渡り、キャンプ場まで15分歩いて到着。キャンプ場の利用者はおらず、われわれは、3張りのテントを張ります。

ここから、研修の始まり。参加者の中には、冬山は初めての者もいます。経験者からテントの張り方、注意事項を聞きながら設営します。参加者全員で、肩を組み新雪を踏み固め、スコップで慣らしながら、設営を行いました。基本的なテント設営術などを確認しながら、自己装備、共同装備のチェックを行い、テントのそばに雪ブロックを積み上げトイレ場所を確保しました。雪質も水分を含んで重いため、雪ブロックも重いようです。

昼食後、2班に分かれて、これまで学んだ冬山訓練の復習です。われわれ4人(竹本夫妻、松本、森)は、ビバーク時のツェルトの活用術、斜面を使っての滑落停止、縦走時の登攀システムでのコンティニューアスを課題に行いました。実際の場面では、転滑落者の停止までの時間の判断と自らの足場の固定の難しさを体験しました。参加者がお互いの意見を述べながら、改善点など指摘することで有意義な時間となりました。

初日の訓練を終えて、夕食は食料計画担当の竹本加代子会員が準備したカロリー満点のなべ料理です。どうしても積雪時や縦走時はカロリーが不足するため、食事の工夫が必要です。

園川講師から、明日の訓練のスケジュール確認と本日の反省点が述べられました。園川講師からは、テント設営時に雪上にシートを引いたが、ビニールシートではなく、軽量の代用物を紹介されました。工事用の軽量の防水シートを持参され、設営したとのこと。テント泊では、いろいろなケースを想定し、改善利用することの大切さを学ぶことになりました。

2日目(10日)

最終日に登山技術を磨くのため弥山山頂を目指す予定でしたが、2日目の天候がベストと考えて本日山頂を目指すこととなりました。午前5時起床、昨晩からの降雪で、テントの上部、周辺に降り積もり、除雪。天候も雪が降り続き、視界が悪いことから夜明けを待ち、出発することになりました。

午前7時過ぎにキャンプ場を出発、夏山登山口から登り始めます。昨晩からの降雪が多い状況ですが、

駐車場から登山者が既に多く登っているため、雪道は歩きやすく、まずは全員で歩行技術の確認でアイゼンを装着せず歩きます。折り返しての雪上訓練の場所を探しながら、雪景色の中、ゆっくり歩きます。

5合目でアイゼンを装着し、歩行し始めます。

このころから、下山する登山客も多くなります。6合目避難小屋に到着。多くの登山者が休憩しています。



転滑落者の救助(写真提供：清家幸三)

われわれは、訓練時間を考えると、山頂往復は難しいため、下山開始。4合目まで下山したところで、訓練には適している急斜面で昼食。

ここで訓練開始、スタンディングアックスビレイ、転落者の救助方法をテーマに行う。足元を固めてのスタンディングアックスビレイでは、ビレイヤーとしての基本動作とロープワークの工夫が大切です。

雪上での転滑落者の救助方法では、斜面からのつり上げのポイントとして支点ロープへの荷重を1/3、1/4で行うと比較的引上げやすいこと、またロープの活用方法を工夫することで引き上げの負担が少なくなることを学びました。

園川講師からは、いろいろな場面を想定し、普段からロープの活用方法がひとつではなく複数あると考えて、訓練工夫するようにと話しがあった。雪上の斜面では、腰まで雪に埋もれながら、互いに声を出しながら訓練を行いました。訓練終了時の午後には、雪も降りやみ、青空も見え始め、雪面も解け始めるなか、下山しました。

今日の訓練では、冬山の厳しい条件の中、短い時間でいかに素早く動作を行うかが大切であると同時に装備の活用を手際よく行うことが必要であると感じました。

3日目(11日)

午前6時起床し、朝食を終え、8時下山駐車場から佐陀川沿いに登り、金門(両岸に巨大な岩石を半ぎったような岸壁が向い合せあることから神門に

たとえ御金門と呼んだ場所)を目指す。園川講師から条件が良ければ金門の氷の壁を登れるとのこと。

歩行技術の仕上げで、アイゼンを装着し、新雪を踏んで向かう。20分ほどで到着、しかし、金門は凍らず、水の滝が流れる。昔、僧侶が歩いたと言われる登山道の標識まで戻り、右尾根の壁を登ることになる。ルートを探りながら、ラッセルで先頭の三浦会員が進む。鞍部に到着し、ここから20分の軟雪面登高となる。縄手会員が先頭にピッケルを刺しながら登る、全員ルートを確認しながら無事登りきる。

尾根に沿って進み、腰まで新雪を踏み、賽の河原に到着。やれやれである。

アイゼンを着脱し、大山寺に向けて歩き、参拝して下山駐車場に戻る。テントの撤収、装備の確認。

食料がなくなり、軽くなってもテントが濡れた分重くなる。課題として、速やかな撤収の工夫が必要。

園川講師から、講評をいただき帰路につく。

今年の3日間の積雪期訓練は、夏山訓練と違い、指導員研修で過去行うことが出来なかった技術面の修得、積雪期でしか経験できない貴重な体験をすることができた。

今後は、北九州支部の山岳指導員として具体的な指導と展開にあたっていきたいと考える。



軟雪面登高の参加者(写真提供：清家幸三)

講師：園川陽造

参加者：8人

指導員B級：竹本正幸、竹本加代子、縄手修、三浦利夫

指導員C級：赤瀬榮吉、森義雄、清家幸三、松本重裕

2月17日(日) 第4回山岳専科 「レスキューの事例現場に遭遇!」 北九498 山下 香代子



実技を終えてビジターセンター裏手の野外で

(写真提供：清家幸三)

午前8時50分過ぎ駐車場をA班・B班に分かれてスタート。先頭に立たされた私に後ろから「はやい、もっとゆっくり!」のA班リーダーからの声。足場の悪い登山道を一歩一歩ゆっくり踏みしめながら歩くのは、バランスを、スタンスの位置を確認する意味で、私にとって大変だなーと実感させられました。“ゆっくりと同じペースで歩くのは、長時間歩けるためですね”1時間ほど進んだところで、アクシデント発生の高齢者3人の男性に遭遇しました。“今からの講習の為にテレビ番組のやらせかしら”と思うほど事前学習になりました。彼の顔色、座り込んでいる姿、飴を与

えたときの彼の反応、彼の服装・ザック等で登山に対するとらえ方、園川講師の的確な言葉かけと冷静な判断、救急車を呼ぶように指示されると「この地点をどう伝えるか分からない」とのこと等々、この事例で生きた学びの場をいただきました。

午前11時から(4時間でシャリパテになるから)昼食タイム、講習会は午前11時30分からスタート。

三浦さんからの立派な資料をもとに理論編を、その後実践訓練のため野外に移動。私はロープワークの指導を受けた後、滑落された方をザイルとカラビナを使って引き上げる。歩けない仲間をザックとストックを使っておぶって助ける実践。同じ道具をどう使うか?道具の使い方をちょっと変えるだけで、担ぐ人・担がれる人・引き上げる人にかかる力が、容易になるか、否かの違いを実感できました。

講習会が終わって、登山者にとっていつ起きてもおかしくない身近なハプニングでの対応、登山道で出会ったグループの方も含めてとても良い講習会でした。ありがとうございました。

最後に、ザイル・カラビナ・スリングをザックに常備していることの大切さ、帰宅してさっそく購入しました。

講師：園川陽造

参加者：10人

会員：竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、森本信子、縄手修、三浦利夫、清家幸三

支部友：山下香代子、松本重裕、宇都宮浩

伊藤久次郎 木版画展



今回、傘壽を迎えるのを機に、人生の集大成として生涯に制作した作品を紹介するものです。また、作品の半分以上は、若い時から登ってきたテーマです。 伊藤 久次郎

～～版画を始めて2年目の弟子たち (日本山岳会北九州支部同好会) 展も同時開催～～

とき：2019年5月21日(火)～26日(日)

午前9時30分～午後6時30分

(最終日は午後4時30分まで)

ところ：田川市美術館 ギャラリーB

(福岡県田川市新町11-56)

JR田川伊田駅下車 徒歩14分

問い合わせ先

伊藤 久次郎

田川市西平松11-8

携帯電話：090-8837-2696

同好会活動 ポレポレ会

(ポレポレとはスワヒリ語で「ゆっくり」を意味することば)

1月17日(木) 白滝山(667㍍)

登山と史跡巡り

北九518 竹中 信枝



白滝山山頂(写真提供:伊藤久次郎)

下関菊川道の駅に午前8時半に集合し、12人が3台の車に分乗して白滝林道、古堂橋登山口へ(午前9時45分) 観音岩経由で登山開始。雨か雪が降ってきたような曇天の中を登るにつれ雪混じりの滑りやすい急登となり、あえぎつつ登る。

林道を横切って更に登っていくが、急登、岩、ロープと厳しい雪道を滑らないように、落ちないように、落石にも気を付けて一歩、一歩踏みしめながら慎重に進む。

更に林道を横切り山頂を目指して最後の登りに入る。ここまで来ると風力発電の巨大な風車が風を切る音がブンブンと迫ってくる。山頂に向かう木の階段が雪をかぶって見えなくなっていた。

午後零時、667㍍白滝山山頂へ、雪に覆われた白い山頂からは北長門の海が展開し、角島や向津具半島が見えたが写真を撮って登山口の林道まで急いで下山し林道の縁石に座って昼食。

午後零時30分、白滝入り口からキャンプ場跡を過ぎ直ぐに白滝に着く。回り込んで見た滝は清冽で滝壺は蒼く凛とした佇まい。ここからこの山の難関ゴルジュを眺めて、興味津々だったが、ここは見るだけでそのまま、白滝林道を歩いて登山口石堂橋へ下り、午後2時ここで登山終了。

ここから車で、幕末、倒幕急進派公家で明治天皇の叔父であり田耕で暗殺された中山忠光ゆかりの中山神社と少し先にある四恩寺跡地を訪ねた。苔むした石垣に組まれたその敷地の広さからも昔の寺の壮

大さが偲ばれた。

午後3時30分、車を止めた中山神社前に帰りここで解散となる。白滝山は風力発電用風車を作るための林道設置工事で山が寸断されて山体が昔とは様変わりしており、リーダーとサブの方は2度も下見に行かれ、迷いやすい悪路の山で皆を気遣い全員、無事に下山できました。

私は2度目のポレポレ会参加で新参加者ですが、仲間に入れてもらい楽しい山行でした。

※2月28日高山 定例会は雨天のため中止

参加者: 12人

会員: 関口興洋、伊藤久次郎、原広美、高島拓生、丹下洽、大内喜代子、縄田正芳

準会員: 藤原玲子、支部友: 宇都宮美智子、星出清美、竹中信枝、ピジター: 米澤真知子

◇◇ポレポレ会のご案内◇◇

野の花を愛で、史跡をめぐり、
のんびり山歩きを楽しみませんか
担当: 丹下洽

2019年の計画

- ・4月25日(木) 花尾山【山口県美祢市於福】
ジャガの鑑賞
- ・5月16日(木) 平尾台南の大地【小倉南区】
- ・6月6日(木) 扇ヶ鼻(久住山)【大分県九重町】
- ・7月11日(日) 城山(筑前東郷)【福岡県宗像市】

◆集合時間や行程についての問い合わせ先
丹下 洽 (携帯090-3732-8843)

◇◇月例山行のご案内◇◇

行事・山行時の申し込み方法の改正

参加者の申し込み漏れを防ぐため、今後の申し込み方法については、下記のとおりとします。

- ①参加希望者は、申込先の担当者へ、原則携帯電話のショートメールかパソコンメールで希望を送信する。
- ②できない場合は、直接担当者の携帯電話に連絡する。

5月の山行

●岩登り教室(初級)

◎会員以外の参加不可

期日：5月19日(日)

集合場所：平尾台茶ヶ床園地

時間：午前8時30分～午後3時解散

行程：集合後、唐手岩に移動し、岩登り講習、

個人装備：登山装備一式、ヘルメット、ハーネス、カラビナ、スリング、エイトカンその他(装備がそろわない方はご相談下さい)

共同装備：ロープ50m(3本)

申込み：町元里香(携帯：090-9572-6939)

締切り：4月26日(金)

●英彦山山開き 雨天決行

リーダー：三浦利夫・清家幸三

とき：5月25日(土)～26日(日)

ところ：英彦山(宿泊：英彦山青年の家)

行程：25日(土) 前夜祭(英彦山青年の家)

26日(日) 山頂で山開き神事

(登山ルート後日決定)

参加費用(宿泊者のみ)：1,720円(ツツ180円、夕食730円、朝食420円、おにぎり弁当390円)

申込み：三浦利夫(携帯：090-2850-6020)

清家幸三(携帯：090-8664-4411)

締切り：当日参加者5月4日(土)

前夜祭参加者4月20日(土)

※前夜祭に参加される方は、「英彦山青年の家」を利用しますが、1カ月前までの申し込みが必要のため、早めの締切りとさせていただきます。

6月の山行

●傾山(1602m) テント泊

リーダー：縄手 修

日程：6月15日(土)～16日(日)

集合場所：九折登山口 午前9時集合

コース：

15日 九折登山口～三ツ尾～坊主尾根～傾山～九折越～テント泊(九折小屋あり)

16日 九折越～九折登山口

申込み：縄手修(携帯：080-8733-2738)

締切り：5月14日(火)

●筋ヶ岳(1004m)～弟見山(1085m)

「ささゆり鑑賞とブナ林縦走」

リーダー：歳弘逸郎 サブリーダー：大谷恵美子

期日：6月30日(日)

集合：午前9時 鹿野IC出口(中国自動車道)

行程：登山口～筋ヶ岳～弟見山～筋ヶ岳～登山口

所要時間 約5時間

装備：通常装備(途中水場がないので、水は多めに準備すること)

申込み先：歳弘逸郎(携帯：090-4806-2878)

締切り：5月30日(木)

●第1回山岳専科

リーダー：三浦利夫

テーマ：オリエンテーション・歩行技術その他

期日：6月9日(日)

集合：血倉山ケーブルカー山麓駅駐車場

時間：午前8時30分集合

(ビジターセンターまで徒歩で移動予定)

携行品：通常登山装備一式・筆記具・昼食

申込み：三浦利夫(携帯：090-2850-6020)

締切り：5月19日(日)

7月の山行

●内住峡沢登り

日時：7月7日(日)

場所：内住峡(飯塚市)

集合：午前10時 九郎原駅(篠栗線)

装備：ヘルメット、ハーネス、カラビナ、スリング、沢シューズ(釣り用でもOK)

昼食、飲料水

申込み：竹本正幸(携帯：090-6739-9251)

締切り：6月23日(日)

2019年度特別山行

●南アルプス(荒川三山・赤石岳・聖岳)

リーダー：竹本 加代子

※南アルプスという山岳条件から、募集人数の制限および参加条件の制限があります。

参加条件を勘案の上、参加者を決定いたします。締め切り後、説明会を開きます。

とき：8月21日(水)～8月26日(月)【26日は予備日】
行程

- 21日 小倉KMMビル集合～白樺荘(泊)*移動
(レンタカー)
- 22日 白樺荘～畑薙第1ダム～<東海フォレスト送迎バスで榎島>登山口～千枚小屋(泊)
行動時間7時間
- 23日 千枚小屋3:00～悪沢岳～中岳～前岳～荒川小屋～赤石小屋への分岐～赤石岳～百間洞山の家(泊) 行動時間：12時間
- 24日 百間洞山の家5:00～中盛丸山～子兎岳～兎岳～聖岳～聖平小屋(泊) 行動時間：8時間
- 25日 聖平小屋5:00～聖沢登山口<井川観光送迎バス>畑薙第一ダム～白樺荘(入浴・昼食)～小倉KMMビル

*山中行動時間5時間 *移動(レンタカー)

*状況により多賀SAで仮眠休憩

26日 予備日

※2日目(23日)赤石小屋への分岐(大倉尾根)12:00をタイムリミットとして、エスケープルート赤石小屋泊を選択する。

※2日目(23日)荒天の場合荒川小屋泊を選択する。

募集人数：7人

参加条件：2日目の行動時間を考慮して12時間歩ける人、未経験でも自信がある人

申込み先：竹本 加代子

(takemoto.masayuki@white.plala.or.jp)

(携帯：090-9253-1260)

費用：6万円～7万円

締切り：5月20日(月)

※参加者確定後、打ち合わせを行い3回の事前訓練を実施。

個人山行のお誘い

由布岳の地形研究山行

——プラタモリの登山のお誘い——

今回のプラタモリの山行は、皆さんご存知の由布岳(駐車場と東峰の往復)です。

湯布院は、九州で最も人気のある温泉地域ですが、断層が多く、由布岳は火山です。

今回も、地理学者の横山秀司会員(本会会員)の案内でプラタモリの登山を行います。

原則、宿泊研修とし、夜間は座学にて研究山行の復習をします。

雨天も予想されますが、雨天の場合は由布岳山麓の散策や倉木山(お花の山として知られている)登山等の無理のない行程に切り替えて実施します。

記

- 日時：6月8日(土曜日)～9日(日曜日)
午前10時(解散予定)
 - 集合場所：午前9時由布岳正面の駐車場
 - 宿泊先：英数学館「湯布院山荘」(「玉の湯旅館」の二隣り)
※なお、8日のみの日帰り参加も可とします。
 - 申し込み先：磯野文雄
メール又は電話(携帯：090-4989-5961)
 - 募集人員：先着15人(定員になり次第締め切り)
 - 申し込み期限：4月30日までに、宿泊又は日帰りの希望を連絡
 - その他(山行期間中の注意事項)
 - 登山中の飲酒・喫煙は禁止です。ご協力ください。
 - 日帰り山行の場合は資料代100円、宿泊山行の場合は資料代・1泊朝食付き5500円
 - 宿泊山行の場合は、夕食は外食(各自負担)となります。朝食(会費に含まれる)は近くのレストランに行きます。
 - 湯布院山荘は、料金前払い制(磯野立替)として、4月30日以降にキャンセルした場合は、朝食代金(1500円程度)を除いてキャンセル料を徴収します。
 - 徴収した会費に残金が生じた場合は、会の会計に寄付いたします。了承願います。
 - 湯布院山荘は、英数学館の研修所です。庭内に自噴する泉源を所有しており、かけ流しで温泉を楽しめます。
- (通常の身回り品は持参のこと、浴衣、布団あり)

会 務 報 告

●平成31年1月定例役員会議事録

日時：1月9日(水)午後5時30分～7時30分

場所：当支部ルーム

出席者：伊藤久次郎、関口興洋、日向祥剛、磯野文雄、竹本正幸、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、縄田正芳、縄手修、森義雄、塚本久嘉、小林英世、馬場基介、池田智彦、清家幸三 計17人。

議 題

(1)支部長「新年のごあいさつ」関口興洋より公益事業5項目と共益事業6項目の推進を本年は図る。

(2)会員の異動状況

①新入会員 準会員：萩原直樹、

支部友：松岡文子

②退会者： 支部友：北崎 真紀

通常会員：71人、準会員：5人、支部友：45人、
会友：4人 合計：125人

③会費未納者：通常会員5人、支部友2人

(3) 山行・行事報告：竹本正幸より報告

・11月11日(日)山岳専科(平尾台・地図読み)22人

・11月18日(日)裏英彦山・紅葉登山15人

・11月21日(水)英彦山バイオトイレ清掃4人

・12月1日(土)～2日(日)年次晩餐会11人

・12月8日(土)忘年の集い(門司倶楽部)24人

・12月16日(日)犬ヶ岳(30年干支の山)15人予定
雨天のため中止

・12月17日(月)ルーム大掃除 4人参加

・1月3日(水)英彦山バイオトイレ清掃6人

・1月6日(日)新春登山・猪群山12人

(4) 山行・行事計画

・1月20日(日)第3回指導員研修(玄海青年の家)

・1月27日(日)久住山(冬山登山)

・2月9日～11日指導員研修(伯耆大山)10人

・2月13日(水)英彦山バイオトイレ清掃

・2月17日(日)第4回山岳専科(レスキュー)

・2月24日(日)宝満山～三郡山～若杉山縦走

・3月14日(木)さいわい幼稚園サポート登山

・3月17日(日)第2回山岳専科(山岳気象その他)

・3月27日(水)英彦山バイオトイレ清掃

(5) ポレポレ会

・11月22日(木)競秀峰(紅葉狩り) 20人

・1月17日(木)白滝山(氷瀑) 13人

・2月28日(木)高山(笠山の椿)

・3月28日(木)清栄山(高森田楽)

審議事項

(1) 第20回通常総会準備

日程：4月21日(日)場所：「コール天」予算は3,000円から3,500円にて計画する

なお、支部友も含めて参加を促す

(2) 英彦山清掃登山5月12日(日)(2月中に添田町との打ち合わせ)担当：奥田スマ子

(3) 2019年度月例山行計画(案)塚本久嘉より説明 森林保全一斉活動は内容を変更する

(4) 2019年度行事計画(案)竹本正幸より説明

(5) 2019年度ポレポレ山行計画(案)丹下洽より説明

(6) 次期役員改選：磯野文雄、森義雄、大内喜代子、丹下洽、池田智彦の5人が退任。代わりについでには3月6日の役員会までに候補者の選定をする候補者への折衝は関口興洋がする

(7) 本部提出書類：竹本正幸が担当

①2019年度支部予算書(1月15日〆切)

②2019年度支部事業計画(1月31日〆切)

(8) 支部ルーム維持と財政問題(追加徴収2,000円について)

役員はできるだけ入室してルームを開放、利用価値を高める。支部報をメールで送信できないか。容量が大きく難しい面があり検討

158部送付、印刷発送費用：45,000円×4回＝18万円/年

(9) 創立20周年記念行事の実行委員会と人選 実行委員長は支部長で実行委員は支部友からも選定する。

(11) ホームページの進捗状況：塚本久嘉が担当で立ち上げる。

(12) 行橋市立延永小学校生の感想文(57人分)

(13) J A C 支部旗の製作及び管理(80×50)：関口興洋が担当

(14) 第35回全国支部懇談会参加者募集1月15日(火)支部〆切 支部一括申込み

現在参加者：関口興洋、日向祥剛

(15) 2019年度「特別事業補助金」申請について 山岳専科と指導員研修会で補助金を申請できないか。30万円くらいで申請できないか。

実質経費が少なく、領収書も必要で大きな金額は難しい。

※終了後ルームにて新年会(19時30分～20時45分)

※次回役員会は3月6日(水)の予定

●平成31年3月定例役員会議事録

日時：3月6日(水)午後6時～8時15分

場 所：当支部ルーム(毎日会館1F)

出席者：関口興洋、日向祥剛、磯野文雄、竹本正幸、榊俊一、丹下洽、丹下加代子、大内喜代子、縄田正芳、森義雄、奥田スマコ、塚本久嘉、清家幸三、小林英世、馬場基介 15人

議 題

(1)会員の異動状況 榊役員報告

②退会者：7人

- ・通常会員：吉村健児、大神信生、(木原充、池田智彦は3月末)
- ・支部友：北九497高尾洋子、北九482原容子、北九499藤本和代
但し、3173吉村健児 北九州支部名誉会員は初代支部長で1月22日逝去による
通常会員：67人、準会員：5人、支部友：41人、会友：4人 合計：117人 (31.3.31)

(2)山行・行事報告

- ・1月6日(日)「新春登山」猪群山(12人)
- ・1月20日(日)第3回指導員研修(7人)
- ・1月27日(日)久住山(積雪のため通行止め)中止
- ・2月9日～12日第4回指導員研修(伯耆大山)(9人)
- ・2月17日(日)第4回山岳専科レスキュー(10人)
- ・2月24日(日)三郡山～若杉山縦走(9人)
- ・3月2日～3日(日)観梅会(三高小屋)12人
※山のトイレ協議会報告(磯野副支部長)

(3)山行・行事計画

- ・3月10日(日)第2回山岳専科(気象)
- ・3月14日(木)さいわい幼稚園卒園児ハイキング：幼稚園児16人+保護者16人
- ・3月23日(土)～24日(日)やくし山～マロン岩峰
- ・4月7日(日)宗像、大島(九州オルレ)
- ・4月14日(日)第1回指導員研修
- ・4月21日(日)第20回 通常総会
- ・4月28日～5月3日 上高地～涸沢
※2019年家裁委託登山要請(5月30日、10月31日)
※行橋市立延永小学校5年生の英彦山登山サポート要請(11月7日又は8日)

(4)ポレポレ会

- ・1月17日(木)白滝山(15人)
- ・2月28日(木)高山 雨天中止
- ・3月28日(木)南阿蘇の山
- ・4月25日(木)花尾山(シャガの鑑賞)
- ・5月16日(木)平尾台の南台地

審議事項

(1)総会の案内準備 竹本正幸より添付資料の説明

- ・2018年度各委員会の活動報告
- ・2019年度役員決定 広報委員長が未決定
- ・総会資料の作成について

(2)20周年記念行事については、

①記念山行(案)は海外(玉山又はキナバル等)と国内(槍ヶ岳集中等)

②JAC北九だより「20周年記念号」を発行する。

③記念式典については、榎有恒祭と併せて行う方向で進める。

④記念品は伊藤顧問の版画入りタオルを考える。

⑤今後は、支部三役が中心になり今後のスケジュールを決める。

(3)支部ホームページについて塚本久嘉より報告

- ・サーバーの名義人は「塚本久嘉」として了承
- ・初年度費用 9,051円+5,142円(100メガ/年間)
- ・次年度は3,909円+5,142円/年間

(4)月例山行でのリーダー、サブリーダー手当と下見手当について 塚本久嘉より提案あり

- ・従来通り100円あるいは200円/人

(5)月例山行で5人未満は中止にする件はリーダーに任せる。

(6)役員手当、役員会交通費の補填については基本的にボランティア活動とする。

地方への交付金額のあり方は、九州5支部単位で本部に交渉して増額を実現していく。

他支部の現状を会報も含めて情報を得る必要がある。

(7)指導員検定の結果

(2人がB級指導員へ昇級)森義雄、松本重裕

(8)北九州支部小旗の管理(10枚)

下記の者が管理する。

山行委員会×6枚、ポレポレ×1枚、支部長×1枚、榊×1枚、ルーム×1枚

(9)英彦山清掃登山(5/12)

下山時にバイオトイレ・オガクズをもって下りてもらえないか(筑豊山の会)の要請。オガクズは、500gから1kg程度の重さで、専用のパックに詰めています。

(10)支部報発行について森義雄より報告

3月28日印刷所に送付、4月3日発送の予定。

(11)ルームの使用について 大型連休は閉館とする。

(12)ラムサール条約に関わっている若者とケーピングの計画あり。ロープワーク指導の要請もあり。

※ 臨時役員会(総会準備)

3月26日(火) 午後5時から

ご協力ください！！
英彦山山頂トイレ掃除の支部当番
2019年4月から2019年8月までの
計画予定

英彦山山頂トイレの清掃日は以下の予定です。
会員皆様のご参加協力をお願いします。

4/24(水)、6/5(水)、7/17(水)、8/28(水)

※参加できる方は、3週間前に自然保護担当奥田スマ子(携帯：080-8589-0903)までお申し込みください。

当日、英彦山別所駐車場に午前9時集合し、山頂トイレへ向かいます。

・★★★会員の異動★★★

- ◆新入会員(平成30年11月~平成31年3月)
- 1 A0208 萩原 直樹
北九州市小倉南区 46才 H30.12.24入会
 - 2 北九520 松岡 文子
福岡市南区大橋 62才 H30.12.8入会
- ◆退会者(平成30年11月~平成31年3月)
- 1 3173 吉村 健児 H31.01.22物故
北九州支部名誉会員 初代北九州支部長
 - 2 14528 下道 利治 H31.3.31退会
 - 3 14875 木原 充 H31.03.31退会
 - 4 14876 池田 智彦 H31.03.31退会
 - 5 15172 大神 信生 H31.01.09退会
 - 6 北九519 北崎 真紀 H30.12.24退会
 - 7 北九299 森安 龍夫 H31.01.09退会
 - 8 北九497 高尾 洋子 H31.02.20退会
 - 9 北九482 原 容子 H31.03.03退会
 - 10 北九499 藤本 和代 H31.03.03退会

●会員数(31/03/31末現在)116人
(通常会員66人、支部友41人、準会員5人、
会友4人)

**ルーム便り(12月~3月)は、
紙面の都合で次号で掲載します**

サロンのお知らせ

小倉サロン

申込み:清家幸三(携帯:090-8664-4411)

【開催月が変更となります】

開催日は支部役員会が奇数月に行われていま
す。会員の情報交換の場として、偶数月の第1
木曜日に開催しています。

期日:4月4日(木)

内容:午後5時00分からルームにてビデオ鑑賞
「穂高、北岳展望登山ガイド」
午後6時から8時まで懇親会
山にかかわる情報交換
予算1000円以内

なお、6月は6月6日(木)です。

形態は同じです。

但し、ビデオ鑑賞は「ナンダコート再挑戦」
です。

博多サロン

とき:5月9日(木)午後6時30分から

場所:丸海屋(カミヤ)博多駅築紫口店

☎092-432-4455

会費:3,700円(品数120品食べ飲み放題)

申込み:赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748 or X-IL)

締切り:5月2日(木)

居酒屋 「コール天」

- 場所:小倉北区魚町1-2-23 松山ビル2F
TEL:093-522-0565
JR鹿児島本線 小倉駅南口から
※中央銀天街方面に向かい徒歩5分

※北九州支部は小倉サロンでお世話に
なっています

